

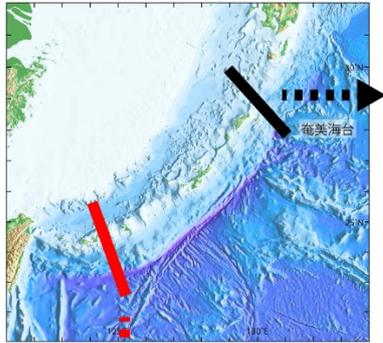
琉球海溝におけるプレート沈み込み構造と地震活動

新井隆太（海洋研究開発機構）

ポイント

- 1995年奄美大島近海地震の震源域に段差1km以上のプレート断裂が存在（図1）
- 大きな浮力を持つ海台とプレート内正断層地震が関係（図2）
- 1771年八重山地震津波発生域に分岐断層構造（図3）
- 極性反転したプレート境界で低周波地震が発生、流体に富み固着域が狭いことを示唆（図4・5）

測線図



南部の沈み込み構造 (Arai et al., 2016)

北部の沈み込み構造 (Arai et al., 2017)

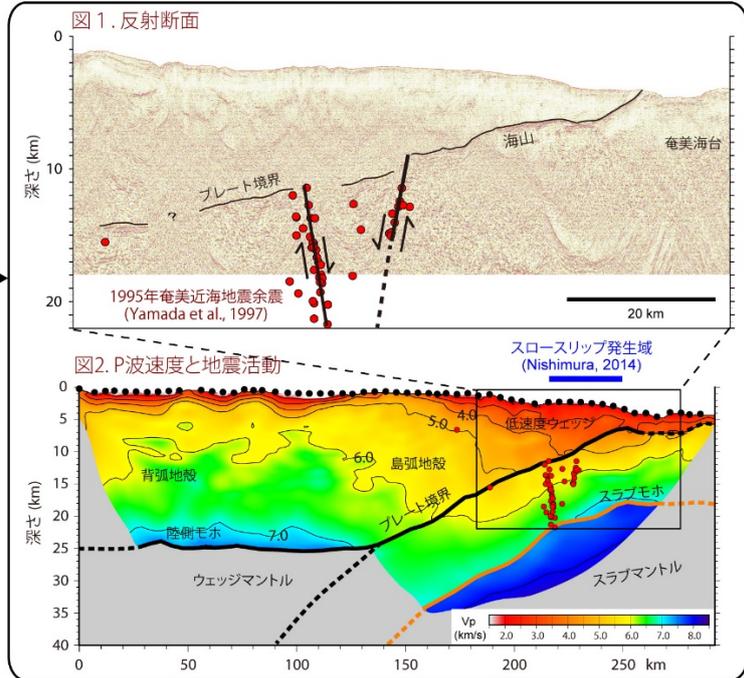


図4. 反射断面 (詳細)

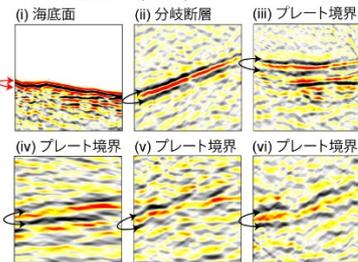


図3. 反射断面

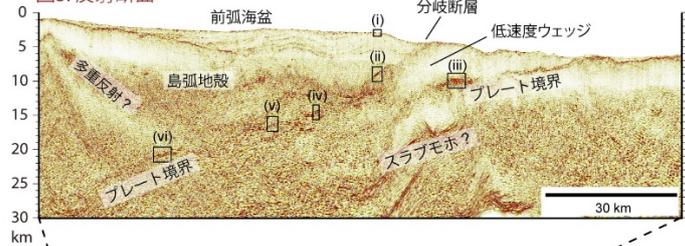


図5. P波速度と地震活動

